

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No.

29

2008. 12

特集

図書館から情報発信!

歴代の図書館



1. 明治 14 年 7 月「宮城書籍館」創設 (勾当台通)



2. 大正元年 10 月新築 (勾当台公園南辺)



5. 平成 10 年 3 月新築 (泉区紫山)



3. 昭和 24 年 11 月再建 (宮城県庁西側)



4. 昭和 43 年 1 月新築 (榴ヶ岡)

「森茉莉を愛する人々」

木村紅美

高校時代、図書委員をやっていた。そのときお世話になった司書の佐久間さんには、大きな影響を与えられた。中でも森茉莉を教えられたのは忘れられない。

「森鷗外の娘の森茉莉って作家、紅美さんが絶対好きだと思うのよ。いま読んで、すつこく新しくかつこいいんだから」

私はたちまち、その妖しく美しい文章世界のトリコになった。

上京して十五年近く経つ。いま私が住んでいる駅から電車で十数分の下北沢という町には、森茉莉が生前、よく原稿を書いていた喫茶店がある。初めて小説の新人賞の最終選考に残ったとき、私は願掛けを兼ねて珈琲を飲みに行った。主人に事情を伝えたところ、私の手を握り、こう言われたのが忘れられない。

「茉莉さんがね、きつと見守っていてくださるから、大丈夫ですよ」

ひと月後、受賞が決まった。森茉莉を、私はずっと読み返し続けるだろう。

(きむら・くみ 作家)